

令和2年5月29日

深川市立深川小学校
保護者各位

深川市立深川小学校
校長 佐藤 浩之

【重要】6月からの教育活動の再開等について

保護者の皆様、取り巻く状況の中『新型コロナウイルス感染症』に関わる各種対応へご理解・ご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

北海道教育委員会より6月1日（月）をもって学校再開の判断がなされました。市も同様の判断とすることから、各種対応を継続しつつ、6月1日より学校生活を再開いたします。

そこで、今後、状況を勘案しながら学校としてどのような対策を進めるか、保護者の皆様にご協力いただきたいことも含めて、下記の通りまとめました。ご確認くださいとともに、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 教育活動の再開に当たって

- (1) 全学年が毎日、午後からの授業も行います。（給食あり）
- (2) これまで同様、全学年、登校は8時からとなります。玄関前に児童が密集するのを防ぐため、早目に登校することのないようご配慮をお願いいたします。
- (3) 活動場所は変更はありません。
1・2・3・6年生 … 各教室
4年生 … 2階ホール
5年生 … 3階ホール
- (4) 給食があります。献立については「6月献立表」をご覧ください。
- (5) スクールバスが出ます。下校は時刻表をご覧ください。

2 基本的な感染症対策

- (1) 集団感染へのリスク対応の基本である「①換気の悪い密閉空間、②人の密集、③近距離での会話や発声」の3条件が重ならないように留意します。
- (2) 3条件に加え、感染防止の観点から、当面の間、保護者を含む校外からの来校者と児童との接触をできる限り回避していきます。
- (3) 児童の健康観察については、各ご家庭での検温結果を「健康観察カード」で確認します。
- (4) 手洗いや咳エチケットを徹底するとともに、校舎内では、飛沫を飛ばさないため、マスクを着用します。
- (5) 教室における児童の密度を下げることに加え、「換気の徹底」並びに「近距離での会話や発声等の際のマスクの使用」を実施していきます。
- (6) 校舎等の消毒に当たっては、手すり、ドアノブ、電気のスイッチ、机、椅子、水道の蛇口、トイレなどのよく手の触れる場所を、消毒液を浸したペーパータオルで拭き取ります。
- (7) 当面の間、「グループ形態での学習」など、児童が対面する活動は、時間の制限を設けたり、距離を取って活動したりする等、配慮します。また、体育科・音楽科・家庭科等において、単元の指導順序を変更するなどの工夫を行います。

*裏面に続きます

- (8) 感染防止の観点から、大人数で集まる活動は控えます。
- (9) 学校給食についても、これまで同様に感染防止の取組を継続していきます。児童全員が食事前の手洗いを徹底します。また、当番の児童に手袋・マスク・エプロン・三角巾を着用させます。(今後も手袋は学校で用意します) 会食に当たっては、机を向かい合わせにしない等の配慮を徹底します。
- ご家庭におかれましては、今後も、食前に児童1人ひとりが自分の机を清浄するためのおしぼり・ウェットティッシュ等のご用意をお願いいたします。
- (10) 子どもたちを感染のリスクから守るため、引き続き各ご家庭において、朝晩の体温測定をお願いいたします。平熱ではないなど、風邪等の症状がある場合は学校を休ませるようご配慮をお願いいたします。(病気で欠席ではなく「出席停止」の対応となります)

3 部活動・少年団活動について

- (1) 換気をしながらの活動とします。
- (2) 全体で使用する道具・器具・設備等は、定期的に消毒します。
- (3) 更衣室は時間差で使用する等、狭い空間での接触を避けます。
- (4) 大きなかけ声や互いに接近したミーティング等は避けます。
- (5) ボール等を使用した後は、手洗いを徹底します。
- (6) 身体接触を避け、仲間との距離を取った練習や活動を工夫します。
- (7) スクールバンドは、パートごとの練習を主とし、手の届く距離や向かい合った練習とならないよう工夫します。

水筒の持参について

例年、6月中旬から9月はじめまで、熱中症対策として水筒の持参について、ご家庭にご判断いただいています。現在、まだ気温はそれほど上昇していませんが、マスクを外せない現状では、熱中症対策としても早目に対応すべきと考えています。6月からの学校再開に合わせ、以下の点にご注意いただいた上で、ご家庭の判断で、お子さんに水筒を持たせても構いません。

1. 飲み物の種類は、水、または、経口補水液とします。(氷を入れて構いません)
2. 持ち歩きの際、振り回すなど怪我・事故防止に気をつけるよう注意をお願いいたします。
3. 記名や衛生管理をお願いいたします。

なお、期間については感染状況に合わせ、必要に応じて学校からお伝えしていきます。

【経口補水液の作り方】

1 Lの水に塩を3g(小さじ1/2)、砂糖40g(大さじ4杯と1/2)

熱中症の症状が現れた際は、200ccの経口補水液を30分かけてゆっくり飲むのが症状改善に効果的です。

以前、4月の学校再開に当たって学校としての感染防止の取組をプリントにてお伝えしましたが、この度のお知らせにおいても、内容はほぼ変わっていません。緊急事態宣言が解除され、学校の活動も再開されましたが、新型コロナウイルス感染の状況は終息したのではなく、依然として注意が必要であり、「新しい生活様式」を浸透させていかなければなりません。ご家庭におかれましては、引き続き学校の感染防止の取組にご理解・ご協力をお願いいたします。